

## 2020年9月 定例観察会（兼新入生体験会）報告書

世話人代表 山本正秋

日 時	2020年9月22日（火）9:30～12:00	報告者：豊嶋 和男
探鳥地	しあわせの村	天候：晴れ
参加人数	25期・26期生 23名 新生 6名	顧問・相談役 2名 総計31名
観察コース	「病院前」～(P4 横下り道)～堂坊池～トリム園地～(上り階段)～野外活動センター横の広場	
観察概要	<p>最初に堀池顧問より「観察ガイド」により概要説明。しあわせの村では多くの野鳥が観察出来るが、今は夏鳥は去り、冬鳥はまだ来ず観察できる鳥は比較的少ない。KSC在学中に時々散歩して観察すると楽しい。観察へ出発。どんぐりの木に寄生するハイイロチョッキリの話が面白い。この虫はどんぐりの帽子の部分に穴を空け卵を産み、その後枝を切り落とす。そうして実の空洞増加を防ぎ、幼虫は実を食べて成長。たんぼぼに似たブク（豚菜）が散見された。「たんぼぼの家」付近に多く生息しているらしい。本当は「ブクの家(?)」（後で調べたら原産地ではハーブとして食用にもされるらしい。名前が悪い！）堂坊池に到着。水辺にセキレイ（ハクセレイ、セグロセキレイ、キセキレイ）のそろい踏みが見られ暫し観察。その後、湖面でカイツブリが比較的大きな魚を捕まえるのを目撃。しばらくすると子が来て大きな獲物をおねだりしてゲット。貴重なシーンに皆の目が釘付け。池を離れ帰り道。先に堀池顧問より、イソヒヨドリ（ヒヨドリ科）はきれいな声で鳴く。ヒヨドリ（ヒヨドリ科）とは科も異なるとの説明があったが、そのイソヒヨドリ現る。近くで正面、側面、背面をじっくり観察させてくれた。トリム園地に着く。大勢の家族連れで賑わっていた。孫の話に花が咲く。最後は長い階段を上り、足腰を鍛えて終了。</p> <p style="color: red;">【観察できた鳥】イソヒヨドリ、カイツブリ、カワヒラ、キセキレイ、シジュウガラ、スズメ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、カワラバト</p> <p style="color: red;">【声を聞いた鳥】キジバト</p>	
感想	<p>良い天気にも恵まれました。工程は比較的短く観察出来た鳥は少なかったですが、貴重なシーンもみられ充実した観察会でした。家族連れの賑やかさも味わえ、最後に老化防止の階段上りトリム運動も出来ました。</p>	
次回予定	<p>次回例会は月10日24日(土) 菊水山です。 詳細は後日連絡いたします。</p>	



全員マスク着用で集合



道すがら、堀池顧問より植物等の興味深い話



イソヒヨドリ  
近くで正面、側面、背面を見せてくれ、サービス満点



カイツブリの親子  
大きな獲物をもって満足そうなひな鳥